



通信制 高校通学 コース

対象者

高校中退・留年者

中卒者(不登校の方)

海外留学したい方

社会人・主婦の方

通信制高校通学コース



登校回数・曜日を自由に選択!

自分のライフスタイルに合わせて登校回数・曜日を選ぶことができます。また、単位制なので、年度途中の転編入や前籍校の修得単位・在籍期間を活かした3年での卒業が可能です。

就労している方が対象

決まった曜日だけ通います。仕事と学習の両立ができる環境を提供。

**週2日
週3日
コース**

アルバイトをしながら進学したい方におすすめ!!
高3生はこのコースが1番人気です。

	月	火	水	木	金	土
1限目 9:30~10:45	レポート指導	※	※	レポート指導	課題	レポート指導
2限目 10:45~12:00	課題	課題	レポート指導	課題	レポート指導	課題
12:00~13:00	昼食					
3限目 13:00~14:30	※	レポート指導	課題	※	※	レポート指導

*1年:検定、2年:小論文・検定、3年:進路指導・検定

集中スクーリングについて

年1度の集中スクーリングに参加することが義務づけられています。普段の学習とは環境を変えて、体験学習を中心としたプログラムに参加します。

屋久島おおぞら高等学校→鹿児島県 屋久島

代々木高等学校→三重県 志摩賢島



取得可能資格

各試験の受験時期に合わせて行います。準会場として煌心高等学院で受験可能な資格もあります。

- 実用英語技能検定
- 日本漢字能力検定
- 日本語検定
- 数学検定
- 色彩検定
- TOEIC/TOEFL
- P検
- 実用マナー検定
- メンタルヘルス・マネジメント検定

卒業後の進路

大学・短大・専門学校・留学など卒業後には多岐にわたっています。多くの指定校推薦枠があり、生徒全員に活用のチャンスがあります。

◆自由なライフスタイルで快適スクールライフ!

通信制高校は、全日制高校や定時制高校と比べると登校日数が少ないこと、自学自習であること、学習の時間や場所が自由であることが特徴で、学ぶ人の様々な状況に対応できる柔軟な学習システムです。自分のペースやライフスタイルに合わせて学習することができるため、近年、自由な学校スタイルを望む生徒の転校や、中退からの編入学者の増加など通信制高校の担う役割が増えています。

◆高校卒業資格取得から メンタルケアまでを完全サポート!

サポート校は学習を全面的にバックアップし、確実に3年間で卒業できるように支援します。通信制高校の入学と同時にサポート校にも入学するという生徒も多くなっています。個別指導で、希望する学習やメンタルケアにいたるまでをサポートし「高校卒業」を確実にするとともに、大学・短大・専門学校への進学指導や各種資格取得のための指導を実施しています。

01 自分のペースで通学

生活スタイルや学習レベルに合ったコース。

02 やりたいことが 見つかる進路指導

興味のある分野、職業を自分で選んで体験。

03 心のケアもしっかりサポート

一人で抱え込んでいる問題も、メンタルソーターが常時的確なアドバイス。

大学

- 慶應義塾大学
- 文教大学
- 筑波学院大学
- 日本大学 国際関係学部
- 順天堂大学
- 中京大学
- 跡見学院女子大学
- 日本大学 商学部
- 獨協大学
- 静岡産業大学
- 工学院大学 看護学部
- 文京大学 教育学部
- 玉川大学
- 横浜大学
- 早稲田大学 法学部
- 京都造形芸術大学
- 神奈川大学
- 静岡大学情報社会学部
- 引前大学 医学部
- 東京福祉大学
- 日本大学
- 駒澤大学メディア学部
- 中京大学 スポーツ科学部
- 京都外国語大学
- 順天堂大学 看護学部
- 神奈川大学 法学部

専門学校

- ヒコみずのジュエリーカレッジ
- 静岡医療専門学校
- 富士メカニック専門学校
- エスマード東京ファッションクリエイティブ科
- 東邦学園音響技術専門学校
- 東京総合美容専門学校

海外留学

- Griffith University(オーストラリア)



高等学校 卒業程度 認定試験 コース

対象者

- 高校中退・留年者
- 中卒者
- 社会人

◆ 高等学校卒業程度認定(旧大検)試験とは?

高等学校卒業程度認定試験とは、高校に進学しなかった人・高校中退などで大学や専門学校の受験資格が得られない人に対し、高等学校卒業者と同等以上の学力があるかどうかを認定する試験です。満16歳以上で、高校を卒業されていない人なら誰でも受験可能です。受験科目は8科目、もしくは9科目です。

◆ 細やかな受験サポートで合格を保証!

当校は、細やかなサポートを行います。万が一全ての科目に合格できなくても、提携する通信制高校で残りの科目を履修し、単位を取得することで、高校卒業程度認定の合格申請ができます。つまり、合格が保証されているのです。

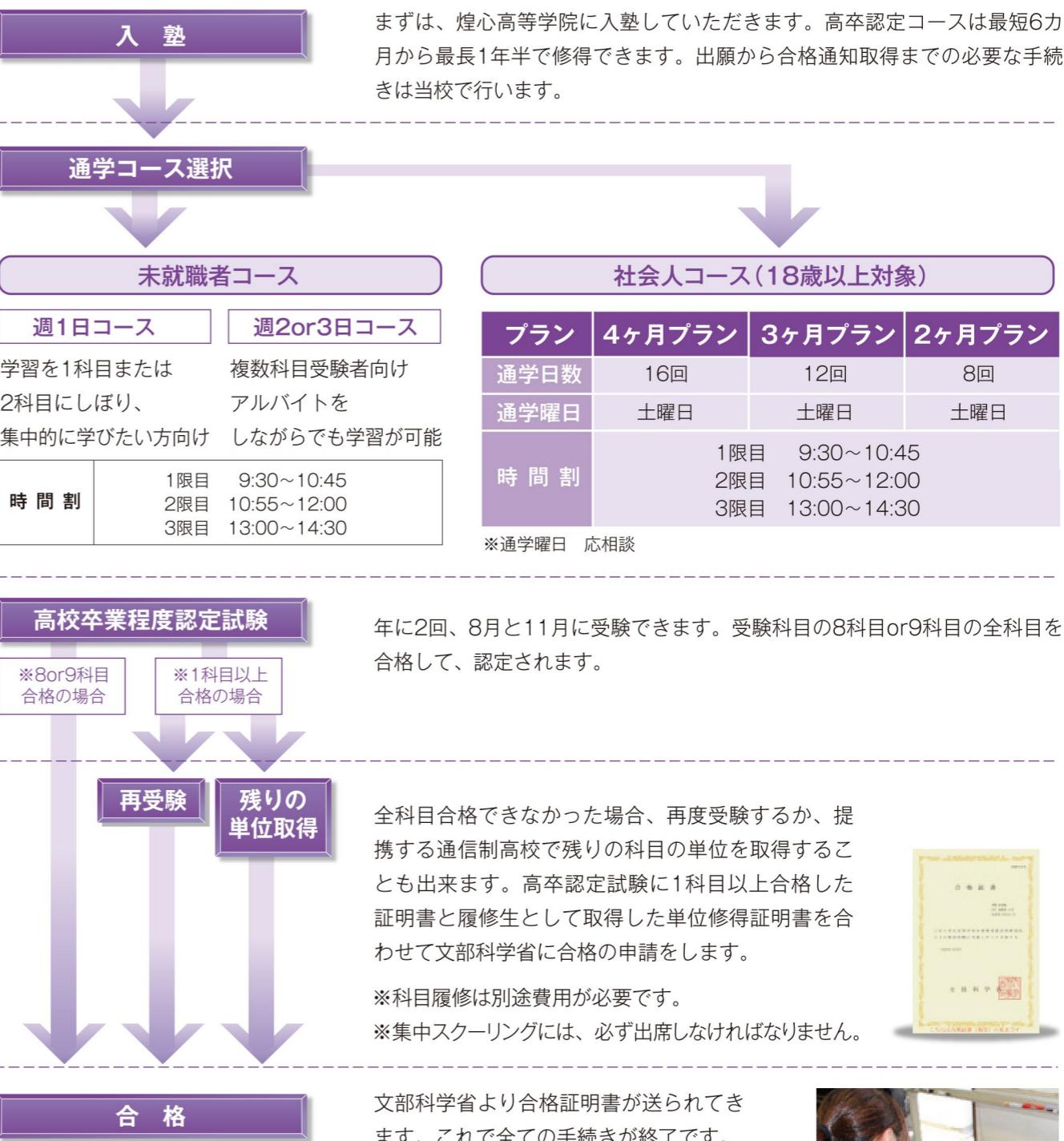
- POINT**
最短6ヶ月で
習得可能
- POINT**
目的に合わせて
履修可能
- POINT**
メンタル面
サポート
- POINT**
取得率100%
(2015年現在)

高等学校卒業程度認定試験コース



◆ 合格までの流れ

目的に合わせて必要な科目を選んで学習し、必要最小限の時間で高卒認定試験の合格を目指します。合格まで当校が全力でサポートいたします。



生徒の声

通信制高校通学コース



坂東くん

代々木高等学校
2014年度から2年間在籍

Q1 入学したきっかけは?

消防職につくため。いろいろ調べた中でまた周りからの意見もあり、仕事と学業が両立できて、夢に向かって続けられそうだったから。実際に見学して、話をきいていく中で先生が「やろうと思ったときがやる時だから」と言ってくれた言葉で、ここだと決めた。

Q2 通ってみてどうでしたか?

良い。勉強がしやすい環境。通学している年齢もさまざまに刺激になった。三交代の仕事のため、登校日も考慮してくれ、無理なく自分のペースで進められた。

Q3 この1年間を振り返ってどうでしたか?

仕事との両立が大変あきらめそうになったこともあったけど、高校の勉強以外に検定や資格取得にも挑戦して合格してきた。やれる!という自信がついた。



木村くん

代々木高等学校
2012年度から2年間在籍

Q1 入学したきっかけは?

以前在籍していた全日制の高校を辞めた際、高校卒業は必要だと母が探しててくれた通信制高校の中で、一番和やかで私にあつた学校生活が送れると思ったから。

Q2 通ってみてどうでしたか?

授業形態がマンツーマンなので、わからないところはわかるまで教えてもらえる勉強面で利点があった。また先生との距離が近いので、いろいろな話ができ、いるだけで楽しいアットホームな学校なので、毎日楽しい高校生活だった!

Q3 高校時代を振り返って、今、何を感じますか?

私自身にとても合った人生の道を選ぶことができました。それもこれも全ては、高校時代に私の将来について真剣に考えてくれた両親と、希望した進学先に行くために支えてくれた先生方がいたからです。今、感じることは、両親と支えてくれた周りの方への感謝の気持ちです。

生徒の声

高等学校卒業程度認定試験合格コース



青木さん

2014年度 合格

Q1 高認受験をしようと思ったのはいつ頃で、それはなぜですか?

高認の制度は知っていたが、行動に移そうとは思わなかった。21歳頃、専門学校に行きたいと思い始め、今からでも遅くないと思い、高認をとろう!と行動した。

Q2 煌心高等学院を選んだのはなぜですか?

高認を取って悪いことは一つもないと思ったので、インターネットで検索した。その際、一番詳しく説明があり、一人ひとりに合わせて指導してくれるところに惹かれ、その日のうちに電話して決心した。

Q3 通ってみて、どうでしたか?

社会人コースなので、基本自由に通えたのがすごく助かった。最初は勉強する事が面倒だったが、できることが少しずつ増えて途中から楽しかった。先生もこちらのペースに合わせた教え方をしてくれて、勉強する事への苦手意識がなくなったと思う。



熊本くん

2014年度 合格

Q1 高認受験をしようと思ったのはいつ頃で、それはなぜですか?

高校に入学したが、諸事情により中退せざるを得なくなつた。働き始めたが、やはり学びたいという気持ちになり、学費を貯めていた。そんな時、煌心高等学院を見つけ、実力を確かめてみたいと思い、高認を受験することにした。

Q2 煌心高等学院を選んだのはなぜですか?

インターネットでみつけ、家から近いことが最初の理由だった。見学した際、生徒一人ひとりのスキルにあった勉強法をしており、先生方が全員の生徒にそれぞれあったサポートをし、わかりやすい説明をしていた。そのため生徒の心を掴みやすい学校だつたため。

Q3 通ってみて、どうでしたか?

通い始めた頃は勉強が何もわからなかつたが、そのわからない所を先生方が先延ばしにせず、徹底的にサポートしてくれ、勉強の楽しさを学んだ。特に英語が嫌いだったが、英語を一から学び、学力がUPしていました。今では英語を話すこと・書くこと・聞き取ること全てが好きになつた。煌心高等学院は勉強の楽しさを感じさせてくれる場所として、通つて良かったと本当に思わせてくれた。

STUDENT & COUNSELOR

提携先通信高校様の声

カウンセラーの紹介



伊藤 幸弘

青少年育成コーディネーター
青少年非行防止ネットワーク理事
静岡県教育協同組合 顧問
子育て協会 静岡県支部長



廣岡 政幸

青少年育成コーディネーター
一般社団法人若者教育センター
代表理事

3000人超の相談者と向き合いカウンセリングを行つてきた。自身も母を失った悲しみから非行に走った過去があり、約30年前に暴走族総長という経験を経て、その後は世の中の為に生きると誓う。

1人でも多くの家族に明るい未来を提供すべく、全国を駆け回っている。

当校の学生をカウンセラーとして明るい未来へ歩いていけるようサポートしています。

1981年千葉県生まれ。幼少期に大病を患い、足に重度の障害を抱えてしまう。小学校では、日々いじめを受ける。周囲の子供たちと同じように生活できない苦しさが反動となり小学校5年生では、喫煙、バイク窃盗、深夜徘徊など荒れた生活を送るようになる。

その後も傷害、恐喝などあらゆる悪行を尽くし、高校はわずか1年で退学。その後ニュージーランドにて2年間海外療育プログラム(自立更生の指導)を受ける。帰国後、自身の経験を生かし、問題を抱える青少年の自立更生に尽力することを決意。不登校、非行、引きこもりなど問題を抱える青少年を預かり共同生活を行う。

現在では、家庭裁判所や保護観察所からの依頼を受けて少年保護の協力も行っている。



校長 一色 真司

代々木高校 校長



教務 田村 岳年

代々木高校 教務

代々木高校では、「学校は社会へ出るための予行演習の場」と位置づけています。しかし現在、この、社会で生き抜いていく大人になるために必要な、年齢相応の予行演習が果たしてできているでしょうか。教育という仕組みが形骸化し、みんな一緒に画一化された環境では、本来その個人が、その年代で経験すべきことができずにいます。そして、本当の自分を見失い、結果、引きこもってしまったり、非行に走ってしまうのです。

煌心高等学院には現代社会が見失ってしまった環境が、全て揃っています。社会へ旅立つ準備として、自分らしさを取り戻し、仲間を信じ、仕事に向かっていく心構えに目覚めていく。そんな当たり前のことに、真正面から向き合ってくれる熱い想いのスタッフがここにはいます。

「どうせ自分なんか…」
「学校なんて行かなくても生きていけるぜ！」
そんなあなた。
ぜひ煌心高等学院の門口をたたいてみてください。
諦めた夢、みつからなかつた夢に近づくため、スタッフがしっかりと貴方をサポートいたします。
自分の将来のため、自分の未来を切り開くため、高校卒業に向け一緒に頑張りましょう！